

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1190400158		
法人名	営利法人 ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・川越寺尾		
所在地	埼玉県川越市寺尾 888-14		
自己評価作成日	令和3年8月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート
所在地	東京都練馬区東大泉3-37-2
訪問調査日	令和3年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人の独自性が尊重され、プライバシーを保ち尊厳を維持する事。自由や好み、および主体的な決定が尊重される事。安心感と自信を持てるよう配慮され、安心と衛生が保たれた環境で生活出来るよう支援しています。又、季節にあわせた行事等の催し物や敷地内にあるミカンを取穫を行い四季が感じられる環境の提供に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

●長く在籍する職員により安定した運営がなされており、方針の実践に取り組んでいます。その経験と知識は利用者への接遇、トラブルへの対応に発揮され、穏やかな生活の実現につながられています。
 ●利用者のできること・日々の習慣を尊重し、入居前からの生活が継続できるよう支援に努めています。リビングで皆と楽しむだけでなく、居室で趣味に興じられるよう配慮するなどその人らしい生活へのサポートに取り組んでいます。
 ●重度化への対応については意向の反映、早期の対応にあたり、利用者・家族に本施設に入所して良かったと思える支援となるよう努めています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を定め、常に確認出来る位置に掲示しています。	事業所内掲示・パンフレットへの掲載を通して理念の周知に努めている。長く在籍する職員により安定した運営がなされており、方針の実現に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウィルス感染症対策により、ボランティア等の交流は自粛しています。	新型コロナウイルスの影響によりボランティアの来訪、地域との交流が中断されている。終息後の再開が待たれる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方々などへの見学対応を随時行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の開催ですがコロナウィルス感染症の影響で自粛しています。ご家族様のご意見、ご要望はアンケートやお電話にて対応しています。	新型コロナウイルスの影響から運営推進会議の開催を中断している。行政や関係機関との協議や法人からの指示を踏まえ、再開時期を検討していく意向をもっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故が起きてしまった際には、行政報告書の提出をしアドバイスを頂いています。苦情、相談の体制を取っています。	市の担当課を外部苦情申立機関として設置し、重要事項説明書に掲載・周知している。関係構築をもって利用者に支援できるよう協調に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会(5月、8月、10月、1月)身体拘束等の適正化の為の研修(7月、11月)を開催し、身体拘束をしないケアの実践を行っています。	身体拘束をしないケア・高齢者虐待防止について研修を実施し、利用者を尊重した支援について指導・周知に努めている。スピーチロックについても管理者が日常の支援に入りながら留意に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会(4月、7月、12月、2月)虐待防止研修9月)を開催し虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会へ参加し職員会議にて情報の共有を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約、解約手続きの際、適切に説明を行いご理解を頂いた上、ご署名、押印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご来設や電話でのご相談、ご意見、ご要望を受けられる体制を取っています。	毎月の通信の送付、電話等での連絡を通して利用者の状態の報告に努めている。ケアプランについて意見を聴取し、同意を得たうえで支援にあたっている。	本評価に伴う利用者調査においてリモート機器を使用した面会実施について要望が寄せられていた。法人内他施設の取り組みを参考に検討と実施が期待される。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を毎月開催し個々の相談や意見交換の機会を設けています。	職員会議にて利用者の支援方法を分析・検討・共有を図り、支援方法を統一するよう努めている。また個人面談の実施等により職員の意見・要望を受け止めるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課を実施、資格取得の支援制度も整っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の充実化と近隣事業所での業務経験を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	エリア会議に参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実態調査の際、ご本人様やご家族様のご意向を確認検討し安心して生活して頂けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居後の様子を電話や毎月の家族通信にて報告しご安心頂けるよう配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談により十分にリサーチし、ニーズの把握に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事後の片づけや洗濯たたみ等の家事を一緒に行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診等の協力を頂きながら共に支え合える環境作りをしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の訪問の際は、再来訪のお声掛けやお願いを致します。	利用者のできること・日々の習慣を尊重し、継続していけるよう支援に努めている。またリビングで皆と楽しむだけでなく、居室で趣味に興じられるよう配慮するなどその人らしい生活へのサポートにあたっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1・2階合同でテラスでお茶会を開催したり、カラオケを楽しんで頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お気軽にご連絡頂きますようお願い掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃より、ご本人とコミュニケーションを図り、お気持ちや意向を把握しご希望に添えるよう務めています。	利用者の観察から始まり、日々の生活を共にすることで意思や嗜好を把握するよう取り組んでいる。無理強いをせず、声をかけながら自然に過ごしてもらうことで意向を表明しやすいよう配慮に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やご本人様よりお話を伺いし確実な把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子やバイタルチェック表を作成し職員間で申し送りによる情報の共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議や日々の申し送りを行っています。	計画作成担当者によるモニタリング、利用者・家族の要望把握を経て計画作成・更新がなされている。支援記録にはケアプランが添えられており、職員は日々確認しながら目標を意識した支援に取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス計画のモニタリングを行い実践状況の確認と評価を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の状況の変化や入退院後の支援の内容の変更を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の商店へ買い物に出掛けています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医や歯科医の居宅療養管理指導により健康と体調の維持に努めています。	内科・歯科の訪問診療、家族等による通院により利用者の健康管理にあたっている。職員間の申し送りを確認したうえで協力医療機関に情報提供をし、利用者の状態が共有されるよう取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回の医療連携の際に情報を共有し助言を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院の相談員や看護師より情報提供、退院の相談を受けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	健康状態に大きな変化が見られた際は医師、看護師、ご家族様との話し合いにより対応しています。	重要事項説明書には重度化した場合の対応指針を掲載・説明し、同意を得ている。看取り支援をはじめとする重度化への対応については、利用者・家族に本施設に入所して良かったと思える支援となるよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法を掲示しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施しています。	避難訓練の実施、消防計画の策定をもって万一の事態に備えている。夜間帯でも駆けつけられるよう緊急時の職員連絡体制を整備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に小窓カーテンを設置や排泄介助の際のドア解放厳禁や排便確認の時のプライバシー保護への配慮を行っています。	職員間で利用者への接遇方法を共有し、利用者が心地よいと感じてもらえるよう統一した支援体制構築に取り組んでいる。利用者同士のトラブルに対しては、職員が間に入り、共同生活への順応をサポートしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	丁寧に傾聴しご本人様のお気持ちに添えるよう日々努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別ケアを実践しご本人様のペースに合わせた生活が出来るよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせた身だしなみができるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳や食器拭き等のお手伝いをして頂いています。	おやつやデザートを工夫するなど食欲の喚起や楽しみの増加に努めている。利用者ができることについては職員がサポートし、自立を意識した生活となるよう目標を支援計画に設定し、実施と実践にあたっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の確認、記録を毎日行います。食事形態の個別対応も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医・歯科衛生士が訪問し診て頂きます。管理指導の下、個別の口腔ケアを支援します。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人様の排泄パターンを把握出来るよう努めます。また、失敗が少なくなるようお声掛けを行っています。	記録の確認により排泄パターンを把握し、利用者それぞれに適した排泄となるよう支援に取り組んでいる。また排泄支援だけでなく、プライバシーを尊重することで支援全体において利用者の自尊心を尊重するよう留意に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を把握し、不足の際の促しを行います。日課の体操での腸の活性にも努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調やご希望に沿い入浴して頂けるよう努めています。	入浴を拒否する利用者に対しては時間を変更するなど無理強いすることのないよう対応に努めている。機械浴槽の使用に対しては複数の職員で対応にあたるなど事故防止に留意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	希望を尊重して休息頂いています。寝具の環境整備を行います。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	訪問医、薬剤師の指示にて対応します。変更の際は薬剤師より説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味やお好きな事、生活歴を参考に暮らしの中に楽しみが持てるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩や庭での外気浴を行います。4月はお花見も実施しています。	テラスのある中庭・広いベランダが設置されており、気軽に外気に触れる機会を有している。新型コロナウイルスの影響から散歩・外出行事などを自粛しており、終息をもって再開を予定している。	介護度が低い利用者も多く、更に能力を活かした活動やレクリエーションの実施が可能であることを認識している。新型コロナウイルスの状況に鑑みながら検討と実施が期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者立替金システムにてご希望の物を購入頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	直接ご本人様が電話をしたり、職員が代理にてお伝えしています。感染症の為、ニーズは増えています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合ったレイアウトや掲示物の作成を一緒に行います。一定の温度・湿度で心地よく過ごせるよう配慮しています。	職員の個性や意見を尊重し、廊下への装飾がなされている。利用者と職員と一緒に作った作品は温かさと季節を感じることができる。また消毒・清掃等により共有空間の清潔が保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	互いの関係性を配慮し座席の位置関係には十分な配慮を行っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	机、イス等は馴染み深いお品をご使用頂いています。又、写真やレクで作成した物等が飾られています。	趣味に興じたり、休息をとったりと利用者が思い思いに過ごすことができる個室が提供されている。ホームで設置している洗面所・ベッド等のほか自身の家具等が持ち込まれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る所はご本人様が行い、潜在的な能力を発揮して頂けるよう支援しています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	リモート機器を使用した面会の実施について要望が寄せられた。	リモート機器を使用した面会の機会を増やせるようにする。	リモート面会実施されている事を、ご家族様宛のお便りに再掲載する。又、いつでもご質問を受付けている事を伝える。	3ヶ月
2	49	能力を活かした活動やレクリエーションの実施を十分に行えていない。	介護度が低いご入居者様の能力を、更に活かして頂く事が出来るようにする。	簡単な調理を含むレクリエーションを実施する。散歩の機会を増やす。自社健康コンテンツを利用し体力の維持に努める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

